

平成24年度に引き続き恵み野商店会を中心に、恵庭市が協力業務を委託した一般社団法人北海道まちづくり協議会（略称：北まち）と一緒に平成25年度も意見交換会を開催（月1回程度を予定）していきます。

この恵み野商店街活性化活動通信は、開催した意見交換会で話し合われた概要を皆さまに知って頂くことと意見交換会に参加して頂くことを目的に、各回意見交換会終了後、恵み野商店会が発行します。（平成26年1月まで）

第8回 恵み野商店街活性化意見交換会

開催日：平成26年1月16日（木）19:00～21:00

場 所：恵庭リサーチビジネスパーク

参加者：恵み野商店会（7名） 恵庭市（3名） 北まち（8名）
北海学園大学学生（3名）

意見交換会のテーマ

1. 組織づくりと運営について

主な内容

今回は、前回の意見交換会のときに保留となった「組織づくりと運営」について意見交換会を行いました。

商店会の主な意見

- 意見交換等の話をする機会の作り方として恵み野の場合は、業種構成が多様なため全員が一同に集まるのは大変なことである。
- よって、参加できる人間だけで意見交換等を行い徐々に具体的な話しを進めても良いと考える。
- 恵み野商店街において、まちづくりの中心的な役割を果たすための組織が商店会にあるという認識は低い。
- これからは、商店会の活動を継続させるためにも、活動の輪を広げる必要があると思う。
- 花については、余り意識したことがないのが現状である。
- 花に関する活動が、個店の商売に良い波及効果をもたらすと考えているので、皆で取り組んでみたい。
- 組織は楽しくなければ継続しないと考えている。大きな取り組みには大きな達成感が着いてくる。個店を経営している以上、商売につなげたいと考える。また、組織は勉強にもなるし、スキルアップにもつながる場だと考えている。
- 「皆で恵み野の商店街をよくしていこう」という共通意識をもって、まとまって欲しいと思う。
- 今後は、花をキーワードに商売につなげていけるか検討したい。

北まちの主な意見

- 恵み野商店街の現状では、活性化について深刻な状況ではいかもしれないが、いつどんなことが起こるかかわからないので、自分たちの現状を把握し、いつでも対処できるような準備は必要だと考える。
- 前回の意見交換においてもビジョンの重要性については、沢山意見をいただいたが、ビジョン

